

付けましたか？
住宅用火災報知器

全ての**寝室**と**階段**（2階に寝室がある場合）に必要です。
正しい場所に設置されているか確認してください。



吉備金屋消防署の訓練の様子（上写真）と、
清水消防署の訓練の様子（下写真）

水難救助訓練を実施

吉備金屋消防署は、水難事故の初動体制確立と想定訓練を6月8日・12日・19日の3日間、有田川で実施。これは平成22年に発足した潜水隊との連携を目的としています。
また清水消防署では、河川の中州

に取り残された傷病者を救出するという想定をし、下湯川地区で救助訓練を実施しました。
潜水隊は、特殊な訓練を受けた11人の隊員で構成され、年間を通じてあらゆる災害現場を想定した訓練を実施。万が一の災害に備えています。

消防だより

今年の出動など(累計)

有田川町消防本部 ☎52・5950
吉備金屋消防署 ☎52・5950
清水消防署 ☎25・1243
病院紹介(和歌山県救急医療情報センター)
☎073・426・1199

火災……………10件
救助……………793件
救急……………18件
(平成29年7月31日現在)

**宝くじの助成金で
小型消防ポンプを更新**

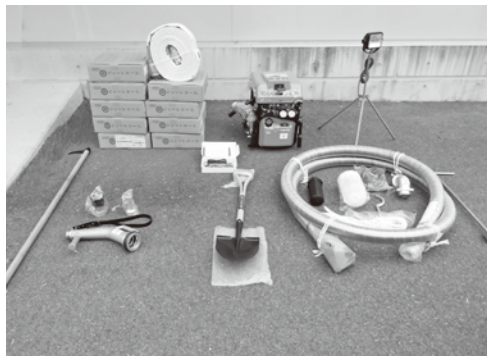


消防団は、地域における消防防災のリーダーとして、昼夜を問わず活躍し、

住民の皆さまの安心安全を日々守っています。

今回、消防団装備の充実を図るため、宝くじの助成金（コミュニティ助成事業）により、有田川町消防団清水支団第1分団（二川班）へ小型消防ポンプ一式を配備。

中山町長から消防団への引き渡しは7月12日（水）に城山西小学校で行いました。



コミュニティ助成事業とは、一般財団法人自治総合センターが、宝くじの収益を財源として行う社会貢献広報事業です。

119番通報のポイント

はじめに「火事」か「救急」かはつきり伝えてください。次のような情報を伺います。

●火事の場合

- ・住所、番地
- ・何が燃えているか
- ・逃げ遅れ、けが人の有無
- ・通報者の氏名

●救急の場合

- ・住所、番地
- ・誰がどうしたのか
- ・呼吸や意識の有無
- ・通報者の氏名

●事故の場合

- ・住所、番地
- ・事故の内容
- ・けが人の状態（意識の有無）
- ・閉じ込められていないか
- ・通報者の氏名

災害の種類が分かった時点で出動準備をします。落ち着いて通報してください。



本当に必要？ 適正利用にご協力を！